

## 平成30年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(清水地区)

開催日時	平成30年10月2日(火)午後7時から午後9時	天気 晴
場所	清水ふれあいセンター	
町民参加者	男24人 女8人 (30代1人、50代2人、60代以上29人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、総務防災課長、環境課長、農林課長、都市整備課長、新東名対策室長、事務局2人	

### 出席者から出た主な意見や提案

#### 《テーマ：スマートインターを活用した過疎化対策について》

○スマートインターが出来たら河内川ふれあいビレッジや道の駅の周辺を整備したらどうか。

○小山町ではインターチェンジができるので開発計画のマスタープランづくりを始めた。清水地区でもコンサル会社を入れてマスタープランづくりをしたらどうか。

#### 《テーマ：自然災害への備えについて》

○清水地区は山に囲まれている。大雨が降ると峰ノ沢が土石流等で住民に被害が及ぶおそれがあるということで、平成27年度から堰堤作りと治山事業が行われているがまだ途中で、昨年の大雨の時には避難勧告が3回ほど出た。避難所が清水支所になっていて避難するより動かない方が安全だという人もいる。大事なのは安全だと思われる場所にいるのが大事だと思うが、清水支所が避難所になるのはどうなのだろうか。ハザードマップ等には清水中学校が避難場所となっている。

#### 《テーマ：鳥獣被害防止対策について》

○捕獲助成制度の国の補助7,000円は限定的なものか。

○サルについてGPSがついているということは誰かが常に確認できていると思うが、防災無線等で今どこにいるかというのを知らせてくれば対応できるのではないか。

#### 《テーマ：その他》

○防災無線の声が変わり聞きづらい。もう少しゆっくりすることはできないか。

○防災無線のデジタル化については多額の費用がかかるということだが、私はあんしんメールの登録をしているので無線の内容が送られてくる。あんしんメール等をうまく使ってコストを下げることはできないのか。

○大雪の時停電になり情報の入手手段が防災無線の子局しかなかった。携帯電話も使用することができなかった。道路も使えなく移動もできないと完全に孤立してしまう。